

令和 7 年度 (繰越) 吉野熊野国立公園天神崎園地四阿整備工事

図面目録

図番	図面名称	縮尺 (A1)	備 考
1/9	特記仕様書 (1)	—	
2/9	特記仕様書 (2)	—	
3/9	特記仕様書 (3)	—	
4/9	造成計画平面図	1:150	
5/9	施設計画平面図	1:150	
6/9	標準断面図	1:80	
7/9	配置図	1:200	
8/9	構造図 (1)	図 示	大型四阿
9/9	構造図 (2)	図 示	舗装・縁石構造図

環境省 近畿環境局

令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿整備工事

特記仕様書

I. 工事概要

四阿設置工事一式

1. 工事場所

和歌山県田辺市天神崎

2. 工期

契約締結日から令和9年3月10日まで

3. 工事種目

(1) 四阿工1基

建築面積14.58㎡

延べ面積28.98㎡

(2) 舗装工一式

4. 指定部分

・有○無対象部分()
指定部分工期年 月 日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうちの工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事

3 土・地業・基礎工事

4 木造工事

5 軸組構法(壁構造系)工事

6 軸組構法(軸構造系)工事

7 枠組壁工法工事

8 丸太組構法工事

9 CLTパネル工法工事

10 木工事

11 防水工事

12 石工事

13 タイル工事

14 屋根及びとい工事

15 金属工事

16 左官工事

17 建具工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 断熱・防露、ユニット及びその他工事

21 排水工事

22 舗装工事

23 植栽工事

II. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」(以下「木造標準仕様書」という。) 及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下標準仕様書」という。) によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
・建築工事標準詳細図(令和4年版)(以下、「標準詳細図」という。)
・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(/) 図、機械設備工事の特記仕様書は(/) 図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載のく内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) 図印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断基準)を満たすものを示す。
グリーン購入法に基づく、環境物品等の調達に関する基本方針(以下「基本方針」という)(環境省ホームページに掲載)(毎年2月改定)において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満たすものを使用することとする。なお、やむをえず判断基準に満たないものを使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。また、「特定調達品目」の調達の実績(設備及び公共工事)について、当該年度の調達実績集計表(物品・役務及び公共工事)を環境省ホームページからダウンロードし、Excelファイルで作成し、提出する。
6) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、木材利用量について、Excel・Wordファイルで作成し、提出する。

III. 現場及び技術に係わる事項

(1) 情報共有システム
※本工事は、情報共有システム利用対象工事である。
詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領(案)」による。
○本工事は、情報共有システム対象外工事である。

章項目特記事項

1 各章共通事項

○適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速(V0=34m/s以下)
地表面粗度区分(○Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
○積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表(一)30cm未満を想定

・環境への配慮<1.4.1>
1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含むしない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
2) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

・材料の品質等<1.4.2>
1) 本工事に使用する材料は、特記なき限り設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

2 仮設工事

○足場等<2.2.4>
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3-1 土工事

○埋戻し及び盛土<3.2.3>
材料及び工法
※標準仕様書表3.2.1による
種別
・A種適用場所()
○B種適用場所(基礎部)
・C種適用場所()土質()受渡場所()
・D種適用場所()
(品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。)
・材料()工法()

3-2 地業工事

○砂利地業<4.6.2>(4.6.3)
材料
砂利・再生クラッシュラン◎
切込砂利又は切込砕石
範囲
○基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・図示による()
厚さ
※60mm○150mm

○捨コンクリート地業<4.6.4>

3-3 コンクリート工事

○コンクリートの種類<6.2.1>
コンクリートの類別
※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類(JIS A 5308に適合したコンクリート)

○骨材<6.3.1>
アルカリシリカ反応性による区分
※A・B

○無筋コンクリート<6.14.1>
コンクリートの種類
※普通コンクリート・セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種◎
・フライアッシュセメントB種◎
設計基準強度
※18N/mm²
スランプ
※15cm又は18cm○8cm
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)(7)～(8)による

○型枠<6.8.2>
せき板の材料及び厚さ
○合板(※12mm・)◎
・

4 木造工事

○防霉・防蟻処理<4.2.1>
防霉・防蟻処理が不要な材種による製材
適用部材(部位)防霉・防蟻処理が不要な材種
・
・
・
・
工場における薬剤の加圧注入等による防霉・防蟻処理
適用部材(部位)薬剤の加圧注入等
・木材は全て加工種・K2・K3○K4・AQ3・AQ2○AQ1
・
・
○木造標準仕様書4.2.1(1)(f)(g)に基づく加圧式保存処理の場合
保存処理の性能(K4AQ1種)
インサイジング
・適用する・適用しない
・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理
薬剤の種類適用部材(部位)
※木造標準仕様書4.2.1(1)(f)(g)(a)による○柱脚部
・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材
保存剤による場合()
・薬剤の接着剤への混入による防霉・防蟻処理
適用部材(部位)処理の方法
・
・
・
・
・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理
保存処理の性能区分
・K3・AQ2
適用部材(部位)・図示による・
・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理
木造標準仕様書4.2.2・(7)による・(f)による
・土壌の防蟻処理
使用する薬剤()
処理方法及び使用量・
・帯状散布(帯状の幅:約cm)
液剤:処理長さL/m
粒剤:()
・面状散布
液剤:処理長さL/m²
粒剤:()

○木材<6.2.2>
軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による

○構造用面材<6.2.3>
軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による

○接合金物<6.2.4>
Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
種類材質寸法・形状等備考
・
・
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
・⑦・①・⑦・①
Z、C、x、D、Sマーク表示金物
種類記号短期許容耐力(kN)その他
・火打金物
・筋交いプレート
・引き寄せ金物
・梁受け金物
・
Z、C、x、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
釘(JIS A 5508)
種類材質その他
・鉄丸くぎ表面処理された鉄
・太め鉄丸くぎ表面処理された鉄
・
・

○釘、木ねじ等<6.2.4>(6.5.10)

○ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金<6.2.4>(6.5.11)
Z、C、x、D、Sマーク表示金物
種類記号その他
・アンカーボルト
・六角ボルト
・座金
・
Z、C、x、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
種類材質寸法・形状等備考
・
・
ボルト、ナット及び座金
材料
※木造特記仕様書表6.2.2による・
寸法・図示による・
座金の種別・引張り応力を受けるボルトの座金木造標準仕様書表6.2.3()
・せん断応力を受けるボルトの座金木造標準仕様書表6.2.4()
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
・⑦・①・⑦・①
アンカーボルト、ナット及び座金
材質・
寸法・図示による・
座金の種別・引張り応力を受けるボルトの座金木造標準仕様書表6.2.3()
・せん断応力を受けるボルトの座金木造標準仕様書表6.2.4()
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
・⑦・①・⑦・①
○ラグスクリュー<6.2.4>(6.5.12)
Z、C、x、D、Sマーク表示金物
種類記号その他
・ラグスクリュー
・
Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー
種類材質等寸法・形状等
・ラグスクリュー木造標準仕様書表6.2.2のボルトによる
・
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
・⑦・①・⑦・①
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法
・図示による・
・ドリフトピン<6.2.4>(6.5.13)
種類材質等寸法・形状等
・ドリフトピン※SS400(JIS G 3101)
・丸鋼(JIS G 3191)(径:)
・
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
・⑦・①・⑦・①
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法
・図示による・
○木栓及び木だば<6.2.4>(6.5.14)
種類樹種名形状・長さ・木だば径等その他
・木栓
・木だば
・接着剤<6.2.4>
・床鳴り防止用接着剤
床板太用接着剤JIS A 5550に基づく接着剤の種類()
・接着剤による接合
接着剤の種類()
・接着剤と併用した場合
接着剤の種類()
・現寸図<6.4.2>
床書き現寸図を作成する
○孔あけ加工<6.4.5>
ボルトの径に加える本部のボルト孔の大きさ
※木造特記仕様書表6.4.1による
・図示による
ドリフトピンの孔径
※ピン径と同径
・図示による

工事名令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿整備工事

図面名特記仕様書(1)

年月日令和8年7月

縮尺—図面番号1/9

受注者名

発注者名環境省近畿環境局

令和7年4月

○表面の仕上げ	見え掛り面の表面の仕上げの程度	<6.4.6>(18.12.2)	7 屋根及び びとい工事	○スレート葺	<14.6.2> <table><tr><th>種類</th><th>寸法 (mm) (全長さ×全幅)</th><th>役物 棟 けらば</th><th>着色 (色調)</th><th>備考</th></tr><tr><td>着色スレ</td><td></td><td>○</td><td>・無</td><td>○有()</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・無</td><td>・有()</td></tr></table> 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する (図示による) ○設置しない	種類	寸法 (mm) (全長さ×全幅)	役物 棟 けらば	着色 (色調)	備考	着色スレ		○	・無	○有()			・	・無	・有()	<14.6.3>
	種類	寸法 (mm) (全長さ×全幅)		役物 棟 けらば	着色 (色調)	備考															
	着色スレ			○	・無	○有()															
				・	・無	・有()															
	○アンカーボルトの設置等	埋込み深さ ・図示による 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm【JASS6 付則6【鉄骨精度検査基準】付表5【工事現場】(3)による】		<6.5.3>	・材料	(18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所：)															
	・基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ	材料 ・木造標準仕様書6.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による 柱底均しモルタルの工法 ・A種 ※B種		<6.5.4>(15.3.2)	○素地ごしらえ	(18.2.2～7)															
	○建方精度	建入れ直し後の建方精度の許容値 (垂直、水平の誤差の範囲) ※1/1,000以下		<6.5.7>																	
	○接合金物の工法	構造物を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金属の取付け方法 ・図示による 熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・		<6.5.9>																	
	○釘、木ねじ等の工法	釘、木ねじ等の種類及び間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し		<6.5.10>	・錆止め塗料塗り	(18.3.2.3)															
	・各種ボルトの工法	ボルトの種類、径、本数、間隔及びボルトに応じた座金の大きさ ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法 ・図示による		<6.5.11>																	
・輪型ジベル接合	輪型ジベル 種類 材質・形状・寸法等	<6.5.15>																			
・圧入型ジベル接合	圧入型ジベル 種類 材質・形状・寸法等	<6.5.16>																			
・火打土台	・木製の火打土台 ・鋼製の火打土台	<6.6.2>																			
○火打梁	小屋組の火打梁 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組の火打梁 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁	<6.7.8>(6.8.6)																			
・床束	・木製床束 ・鋼製床束 仕様及び設置方法 ・図示による ・樹脂製床束 仕様及び設置方法 ・図示による	<6.8.2>																			
6 木工事	○材料	木工事に使用する木材等は、使用材料表9による	<10.2.2>																		
	○表面仕上げ	木工事に使用する合板等は、使用材料表10による 見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 手加工 ※内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種	<10.1.3>(表10.1.1、2)																		
	○釘、木ねじ等	釘 (JIS A 5508) 種類 材質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・ ・ ・釘 (JIS A 5508) に規定されているものの以外 材質 () 造作材化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじ (JIS B1112又はJIS B 1135) 種類 材質 その他 ・十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1112 ・すりわり付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1135 ・ ・木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135) に規定されているもの以外の木ねじ 材質 ()	<10.2.4>																		
	○耐候性処理	屋外に使用する仕上材 ・木材保護塗料塗り 標準仕様書表18.12.11による 施工箇所 ※図示による 種別 ・A種 ※B種	<10.3.1>(18.12.2)																		
				9 排水工事	○街きよ、緑石及び側溝	(21.3.1、2) (表21.3.1)															

木 工 事 で 使 用 す る 材 料 表	・木質複合軸材料 															
	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用											
					・											
					・											
					・											
	・木質断熱複合パネル 															
	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用											
					・											
					・											
					・											
	・木質接着複合パネル 															
	施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用											
					・											
					・											
					・											
	・JAS 3079に基づく直交集成板 															
	施工箇所	品名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用								
		・異等級構成 直交集成材 ・同一等級構成 直交集成材		・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C			・								
								・								
								・								
	＜使用材料表 4＞ ＜6.2.3＞															
	・「合板の日本農林規格」による構造用合板 															
	施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	防虫処理 の適用	単板の 樹種名	間伐材等の適用						
		構造用合板	・1類 ・特類	・2級 ・1級				・適用する () ・適用しない		・						
										・						
										・						
	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 															
	施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度		単板の樹種名		間伐材等の適用								
		化粧ばり構造用合板		・1類 ・特類				・								
								・								
								・								
	・パーティクルボード 															
	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用										
						・										
						・										
						・										
						・										
	・JAS 0360に基づく構造用パネル 															
	施工箇所	品名	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)					間伐材等の適用							
		構造用パネル		・1級 ・2級 ・3級 ・4級					・							
									・							
									・							
＜使用材料表 9＞ ＜10.2.2＞																
・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 																
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用										
		・1級 ※2級		・SD15 ・SD20		・										
						・										
						・										
・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 																
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用										
見え掛り面		・上小節 ・				・										
見え掛り面以外		・小節以上 ・				・										
						・										
・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 																
施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用										
		・特等 ※1等 ・2等		※10以下 ・13以下		・										
						・										
						・										
・JAS 1083 (製材) 以外の下地針葉樹製材 																
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等の適用								
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・								
								・								
								・								
・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材 																
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等の適用								
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・								
								・								
								・								

造成計画平面図 (A1:S=1/150, A3:S=1/300)



座標点		
点 名	X 座 標	Y 座 標
K-1	251,946.872	59,928.043
K-2	251,961.665	59,899.451

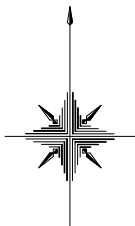
凡例	
・ 4.66	: 現況地盤高
4.50	: 計画地盤高

四阿設置場所(現況状況写真)



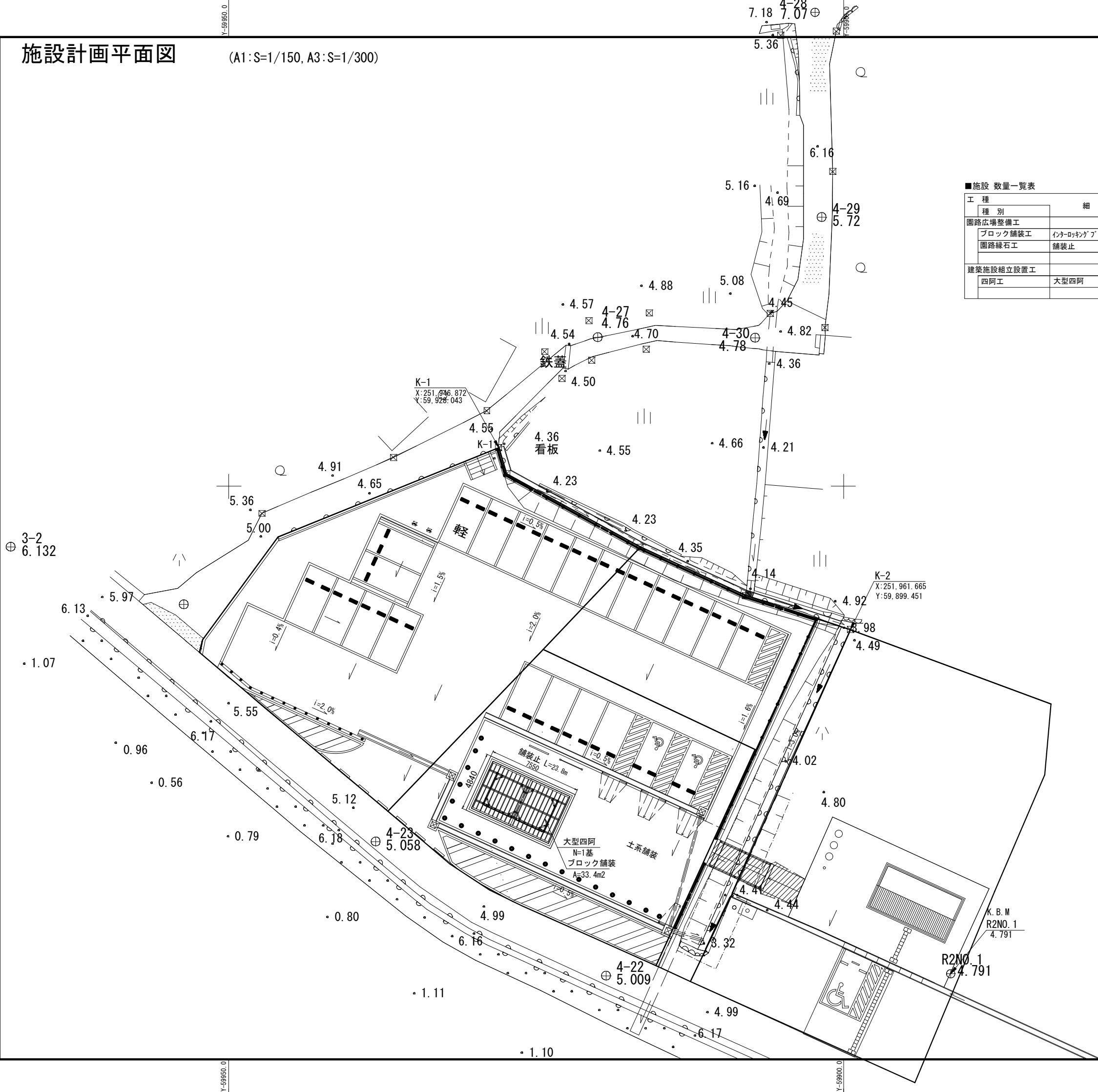
工 事 名	令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿整備工事		
図 面 名	造成計画平面図		
年 月 日	令和8年7月		
縮 尺	1/150	図面番号	4/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

施設計画平面図 (A1:S=1/150, A3:S=1/300)



■施設 数量一覧表							
工 種	種 別	細 別	記 号	規格 (形状・寸法等)	数 量	単 位	備 考
園路広場整備工	ブロック舗装工	インターロッキングブロック舗装		t=190	33.4	m2	
	園路縁石工	舗装止		120×120×600	23.8	m	
建築施設組立設置工							
四阿工	大型四阿			6900×4200	1.0	基	

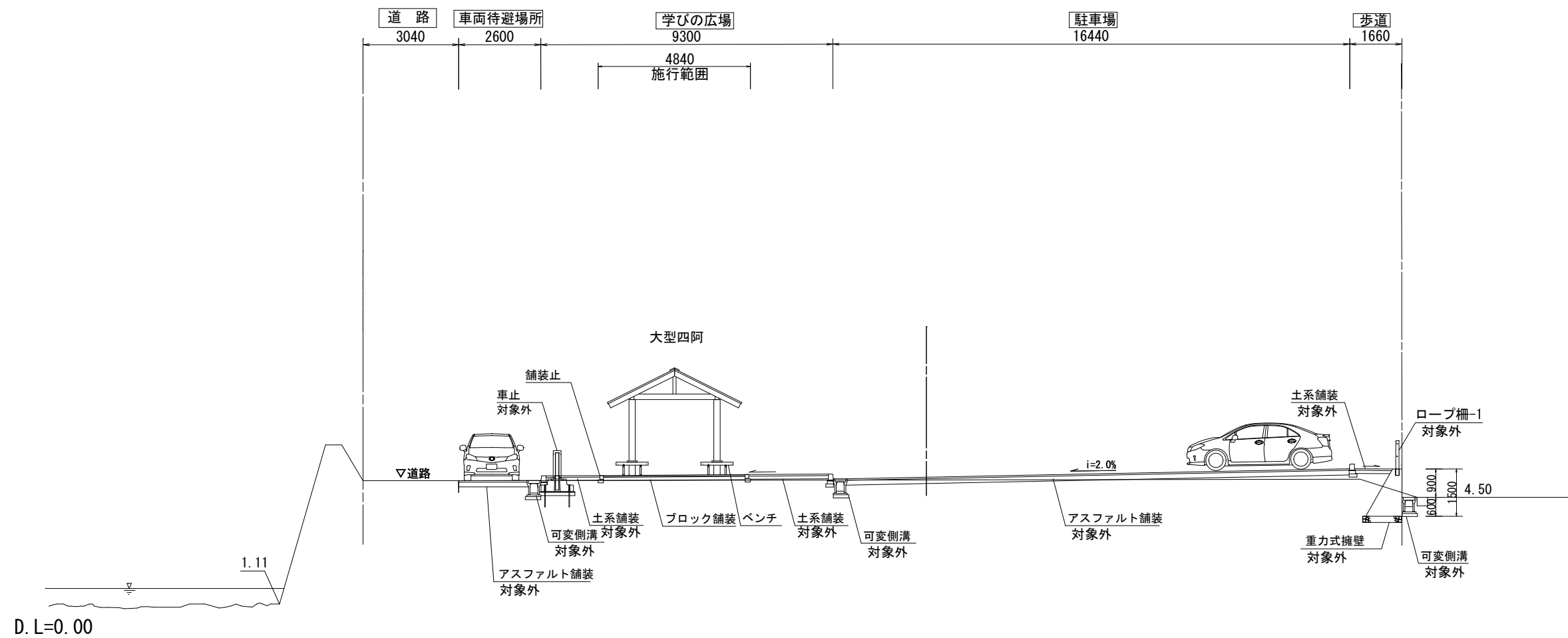
凡例	
・ 4.66	: 現況地盤高
4.50	: 計画地盤高



工 事 名	令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿整備工事		
図 面 名	施設計画平面図		
年 月 日	令和8年7月		
縮 尺	1/150	図面番号	5/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

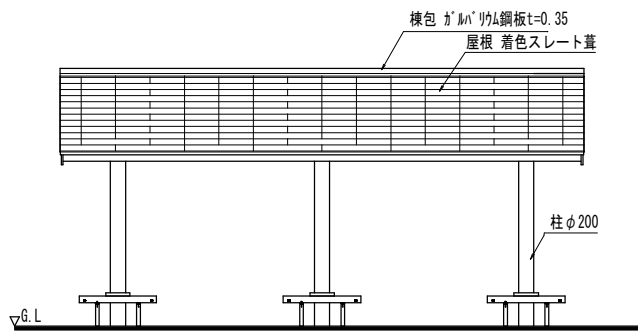
標準断面図 S=1/80
(No. 3 断面図)

横断図 (N0. 3)

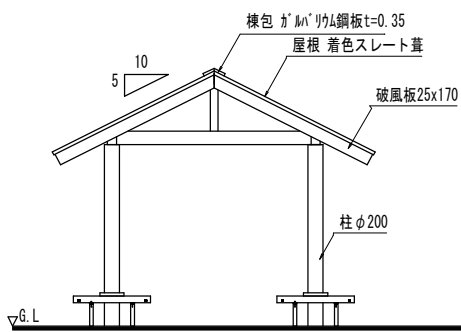


工 事 名	令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿整備工事		
図 面 名	標準断面図		
年 月 日	令和8年7月		
縮 尺	1/80	図面番号	6/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

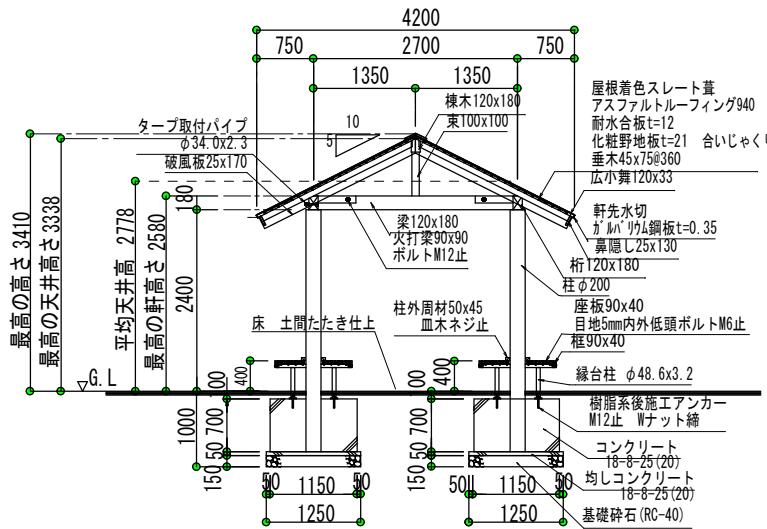
構造図(1)
大型四阿



南立面図 S=1:100

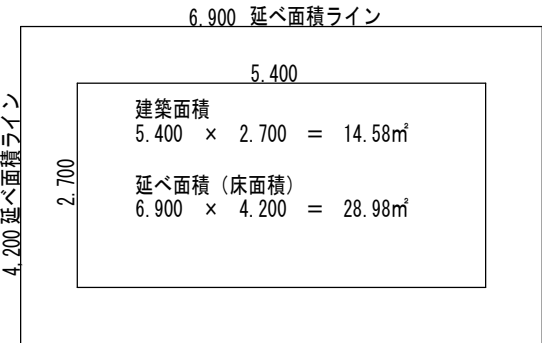


東立面図 S=1:100

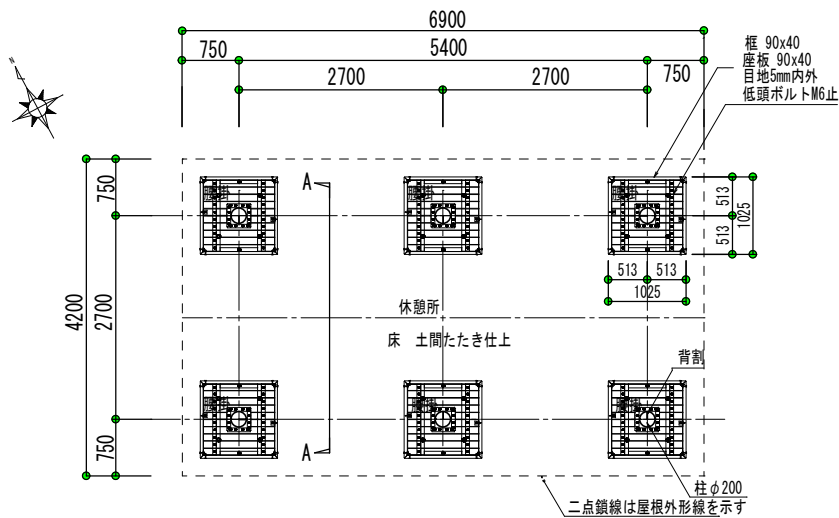


A-A断面図 S=1:100

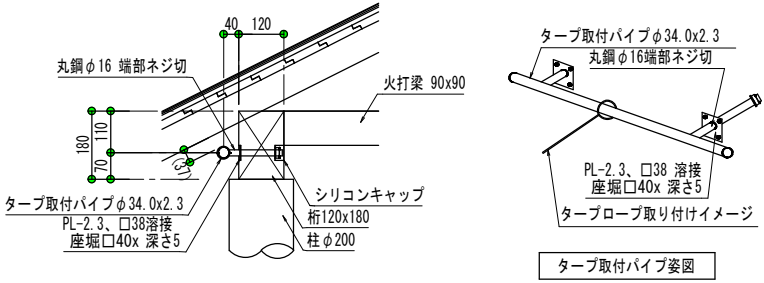
平均天井高計算
$$\frac{5.400 \times 2.700 \times 2.400 + 5.400 \times 2.700 \times 0.758 \times 1/2}{5.400 \times 2.700} = 2.778 \text{ m (平均天井高)}$$



床面積算定図 S=1:100



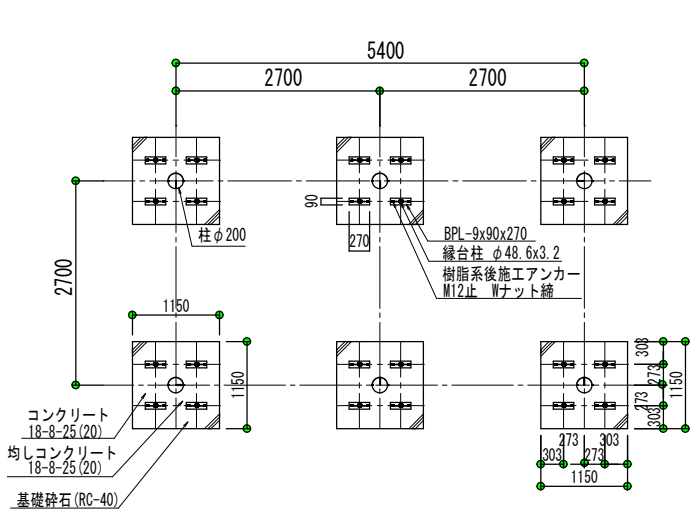
平面図 S=1:100



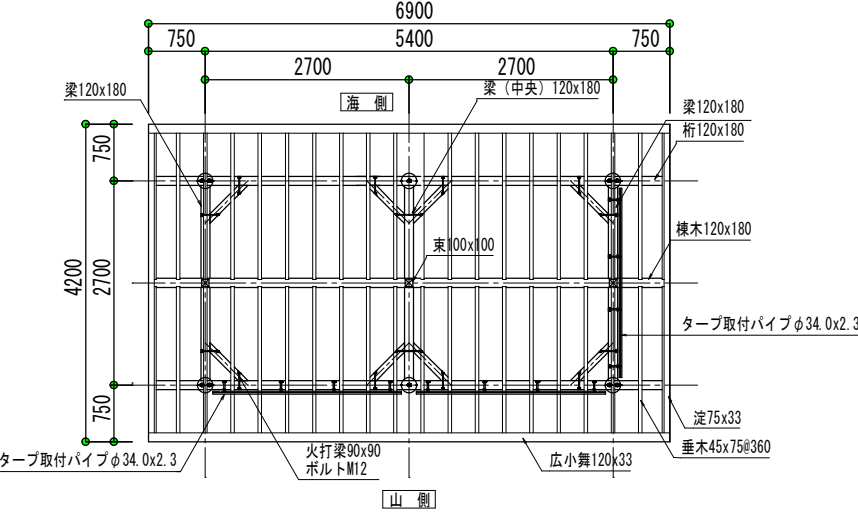
タープ取付パイプ詳細図 S=1:20

<仕様>

木材	木材は地域流通材材(角材はブレード加工、丸太材はハリ加工)を使用。 縁台は合成木材(無垢材)を使用する。 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。 木材は全て加工後、K4AQ一種木材保存剤を加工注入処理する。 加工注入方法はJIS A9002による。 木材の見え掛り部は面取を行なう。 柱は背割を行なう。 木材の見え掛り部は木材表面保護塗料ガードラック塗装とする。 柱脚部は、地際上下15cmの範囲にサンプレザー0GRを塗布を行う。 耐水合板は、加工注入処理は行わないものとする。
鋼材	鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。 鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、 アクリリック樹脂塗装とする。塗装色はコゲ茶(19-20B)とする。
ボルト類	ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。 木ねじ類、低頭ボルトは、図示無き限り、ステンレスとする。
座堀	見え掛り(木材表面)のボルト、コーチスクリューは図示無き限り座堀内に納める。 見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。(火打梁内側を除く)
桁と柱はコーチスクリューで接合を行う。 製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。 設計条件や商品改良によって図面を変更する場合があります。 設計地耐力は、長期50kN/m ² 、短期100kN/m ² を想定する。 積雪は30cm未満を想定する。 風速は34m/s以下とする。	



基礎伏図 S=1:100



小屋伏図 S=1:100

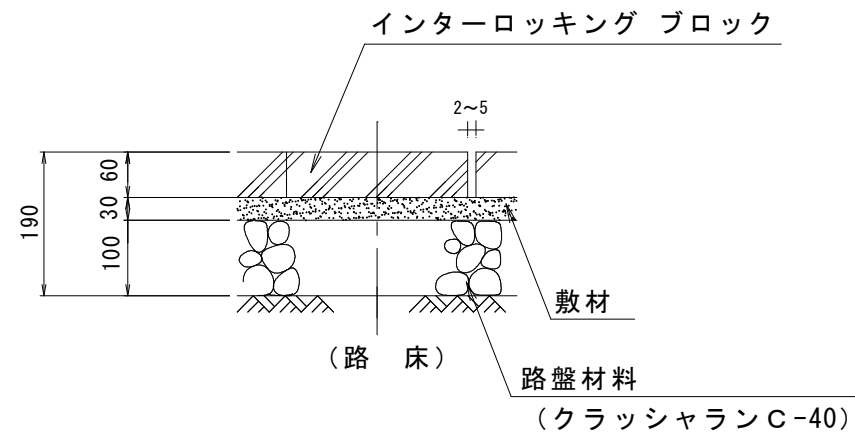
工事名	令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿整備工事		
図面名	構造図(1)		
年月日	令和8年7月		
縮尺	図示	図面番号	8/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

構造図(2)

舗装・縁石構造図

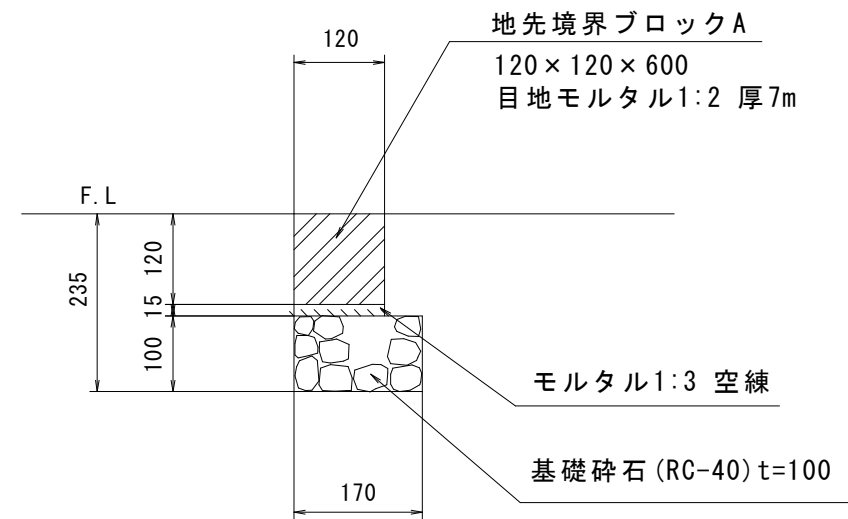
ブロック舗装

断面図 S=1:5



舗装止

断面図 S=1:5



〈舗装止〉
・ブロックは、JIS製品とする。
・目地モルタルは、配合1:2、目地厚さ7mmとする。

工 事 名	令和7年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿整備工事		
図 面 名	構造図(2)		
年 月 日	令和8年7月		
縮 尺	図 示	図面番号	9/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		